

7月広報カレンダー

広報さの
平成25年6月15日号

編集

佐野市 政策調整課

※本紙は資源保護のため再生紙を使用しています

6 土 ・田沼図書館
「たなばたのおはなし会」
→広報さの6月15日号 P. 13

・農村レストランスタンプラリー開始
(12月1日まで)

7 日 ・クールアースデー2013 in SANO
[午後1時～:佐野駅前交流プラザ「ばるぼーと」]
→広報さの6月1日号 P. 4

・吉澤記念美術館収蔵企画展
「架空の五感でたのしむ絵と陶芸」最終日
→広報さの6月15日号 P. 12

・佐野図書館「世界にひとつだけアート展」最終日
→広報さの6月15日号 P. 13

13 土 ・葛生伝承館企画展
「神楽の面と衣裳展」初日
→広報さの6月15日号 P. 12

・栃木県立博物館地域移動博物館
「きょうりゅうのひみつ!」初日(9月1日まで)
→広報さの6月15日号 P. 12

20 土 ・浅間の火祭り
[浅間神社(奈良瀬町)]

21 日 ・人間国宝田村耕一陶芸館企画展
「田村耕一の技③かたちをつくる」最終日
→広報さの6月15日号 P. 12

22 月 ・「佐野市プレミアム付商品券2013」販売開始

新庁舎建設事業について

新庁舎建設事業に伴う駅南公園解体工事が始まり

ました。市民の皆さんには、ご不便をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

なお、代わりの公園整備については、高砂町内に予定しています。



【新庁舎完成イメージパース】

■問合せ 新庁舎建設課 ☎(20)3058

第15回

「シリーズ 田中正造」
「没後100年を迎えて」



「よみがえる郷土の偉人」③



「まんが田中正造」P86～87より

衆議院議員となった正造

が、第2回帝国議会にて、当時の農商務大臣・陸奥宗光に足尾銅山の鉍毒問題について質問をしたシーンです。正造にはたくさんの仲間がいて、その行動は多くの青年などの心を動かしたと言われています。政治家としての正造について、原作者の水樹涼子さんにお話しいただきました。

■水樹涼子さん(原作者)

人が何かをし、多くの人の心を動かすにはまず自分が動かなければなりません。そう

すれば、心ある理想を持った若い世代はついてくるでしょう。そして、ある時点まで来たら一度立ち止まり、後ろをついてきた人を通し、先に行かせなければ続いてはいきません。しかし正造は持つて生まれた一途さか、あるいは不器用だったのか、結局一人で最後まで突っ走ってしまっただ。それがずっと行動を共にし、ついてきた人が最後は離れてしまうという結果を招いてしまったのではないのでしょうか。政治家になるのは容易ではありませんが、政治家をまっとうするのはもっと難しいことです。例えば、ケヤキのような葉を広げた大樹といふのは、雨風や日差しをさえぎってくれますが、その木のそばには同じような大樹は育ちません。だから大きな木といふのは必然的に野になければならない。正造を見るとそんなこと思い浮かべてしまいます。

■問合せ 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室 ☎(22)8832 URL <http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou/>

